

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和05年02月17日

計画の名称	安全で快適な自転車利用のための自転車通行空間整備（防災・安全）												
計画の期間	令和04年度～令和08年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	岡山市												
計画の目標	自転車は「車両」という大原則を踏まえ、自転車が通行すべき空間を整備し、自転車関連事故件数の削減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	865	A	865	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R4当初	中間目標値 R6末	最終目標値 R8末
1	自転車通行空間ネットワーク計画内における、自転車関連事故件数（令和2年度314件）を260件に減少。 自転車通行空間ネットワーク計画内において、令和8年度に発生した自転車関連事故件数を調査する。 （令和2年度の自転車関連事故件数）－（令和8年度末までの整備済延長）（※1km整備に対して1件の事故件数減少）	314件	287件	260件

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	×	避難行動要支援者名簿の提供	○
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---	---------------	---

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	(1) いずみ町青江線ほか	自転車通行空間整備 L=17.0 km	岡山市	■	■	■	■	■	136		—	
	A01-002	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	(1) 学南町1号線ほか	自転車通行空間整備 L=72.3 km	岡山市	■	■	■	■	■	579		—	
	A01-003	道路	一般	岡山市	直接	岡山市	市町村	交安	(2) 西川原国富線ほか	自転車通行空間整備 L=18.8 km	岡山市	■	■	■	■	■	150		—	
											小計							865		
											合計								865	

交付金の執行状況

(単位：百万円)

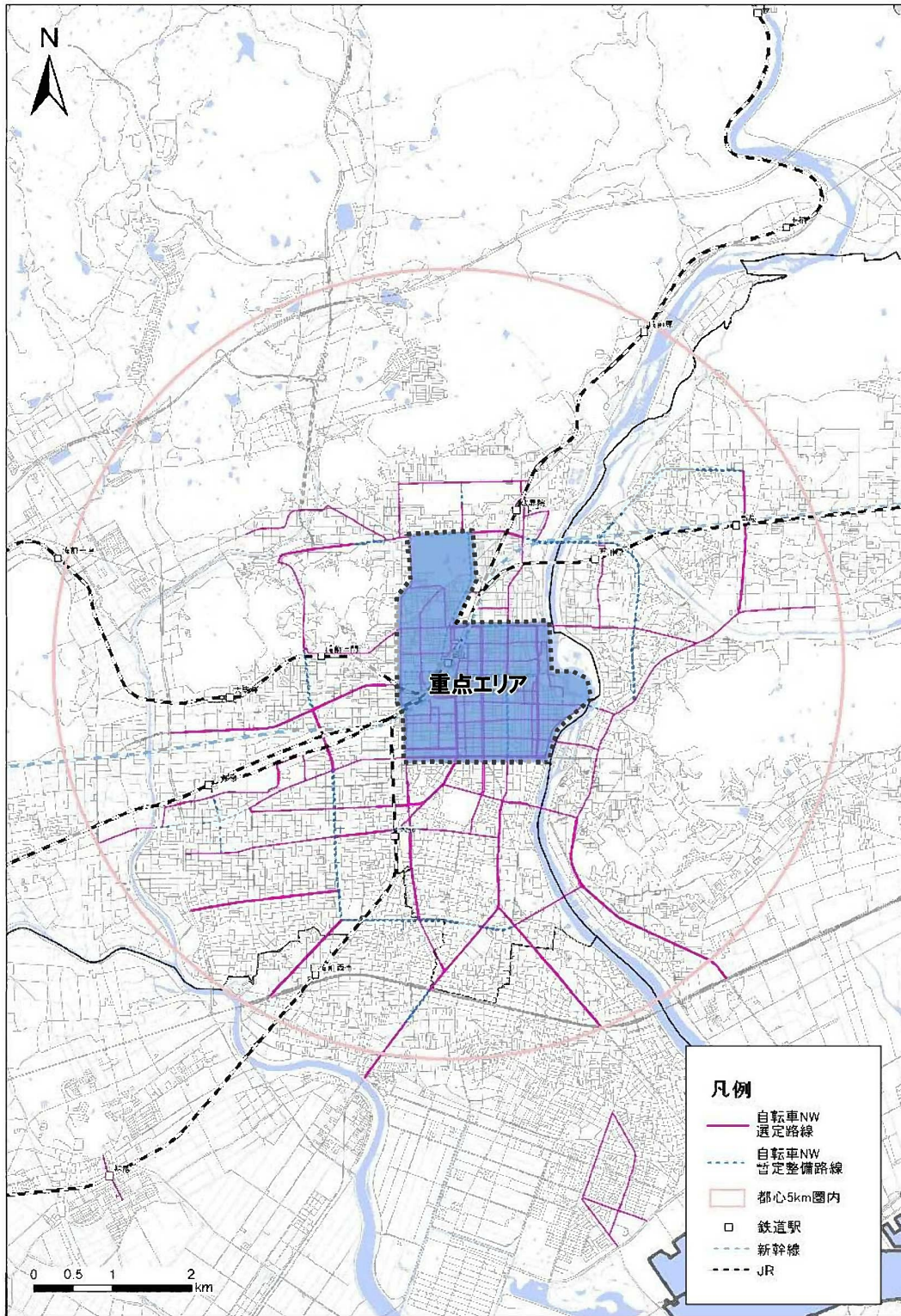
	R04	R05			
配分額 (a)	8	6			
計画別流用増△減額 (b)	0	0			
交付額 (c=a+b)	8	6			
前年度からの繰越額 (d)	0	7			
支払済額 (e)	1	9			
翌年度繰越額 (f)	7	4			
うち未契約繰越額 (g)	7	2			
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0			
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	87.5	15.38			
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	関係機関等との協議に不測の日数を要しているため。	関係機関等との協議に不測の日数を要しているため。			

事前評価チェックシート

計画の名称：安全で快適な自転車利用のための自転車通行空間整備（防災・安全）

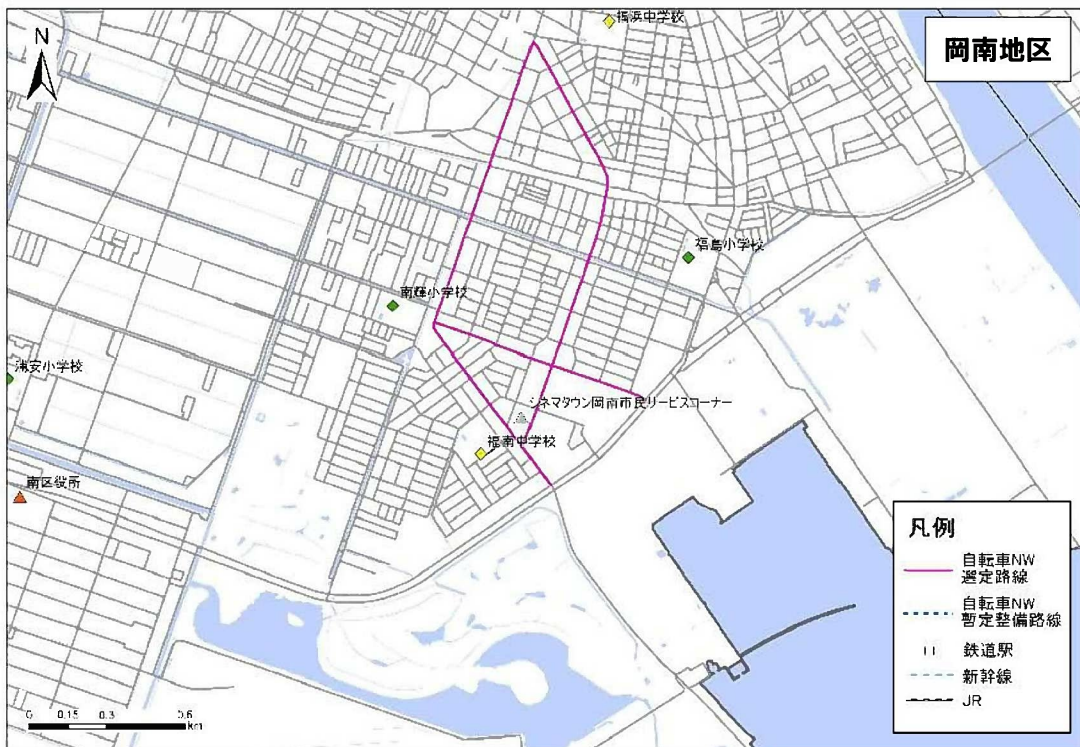
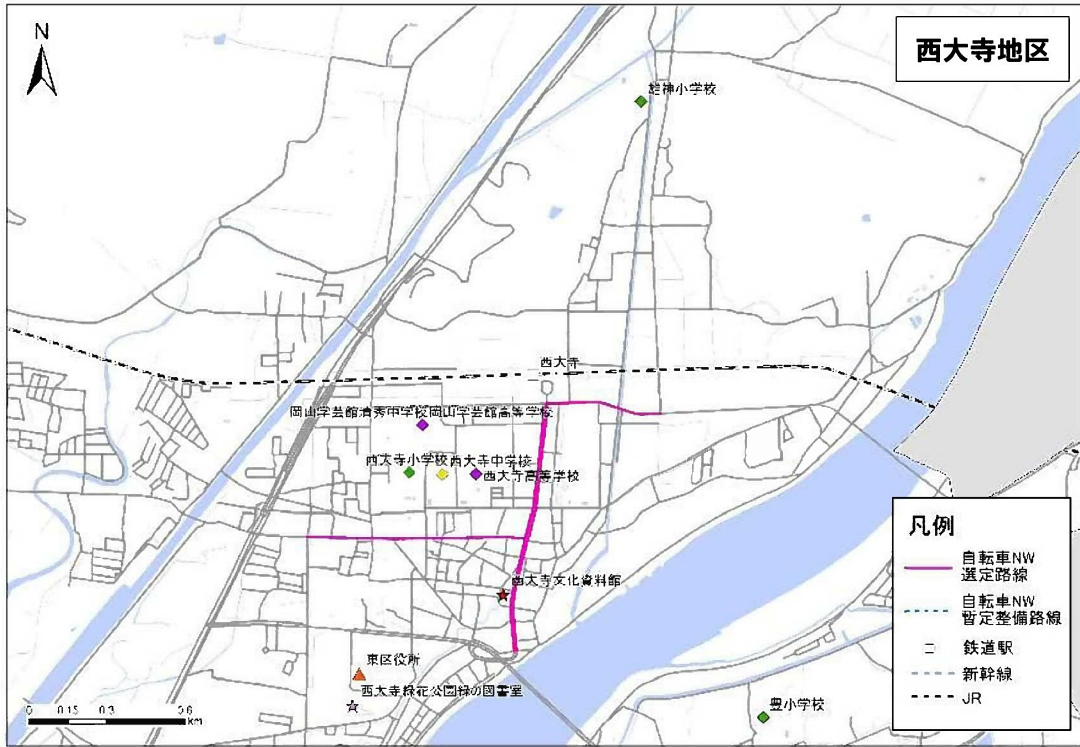
事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 岡山市総合交通計画、岡山市自転車活用推進計画	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の適合性）	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標は適合している	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 計画の目標と定量的指標は整合している	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は明瞭である	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 全ての要素事業は目標を達成するためのものとなっている	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 事業の効果見込みは妥当である	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 事業執行の環境は整っている	○

A01-002 : (1) 学南町1号線ほか



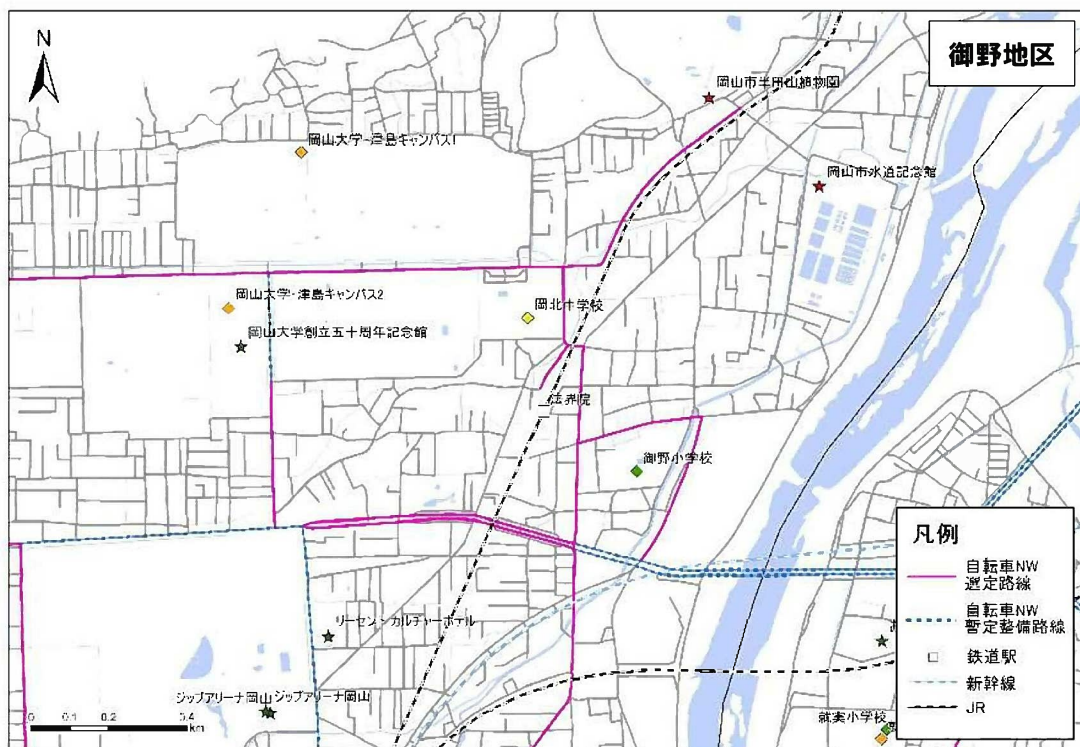
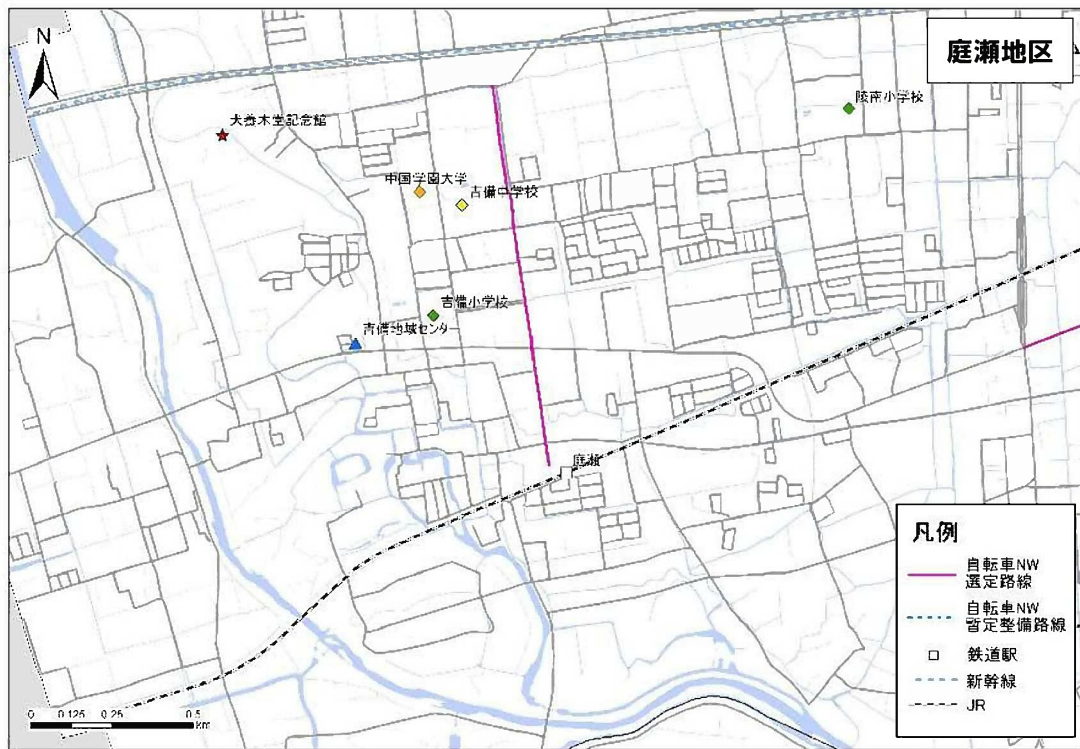
▲自転車通行空間ネットワーク（都心アクセス軸）※一部、スポット部路線含む

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



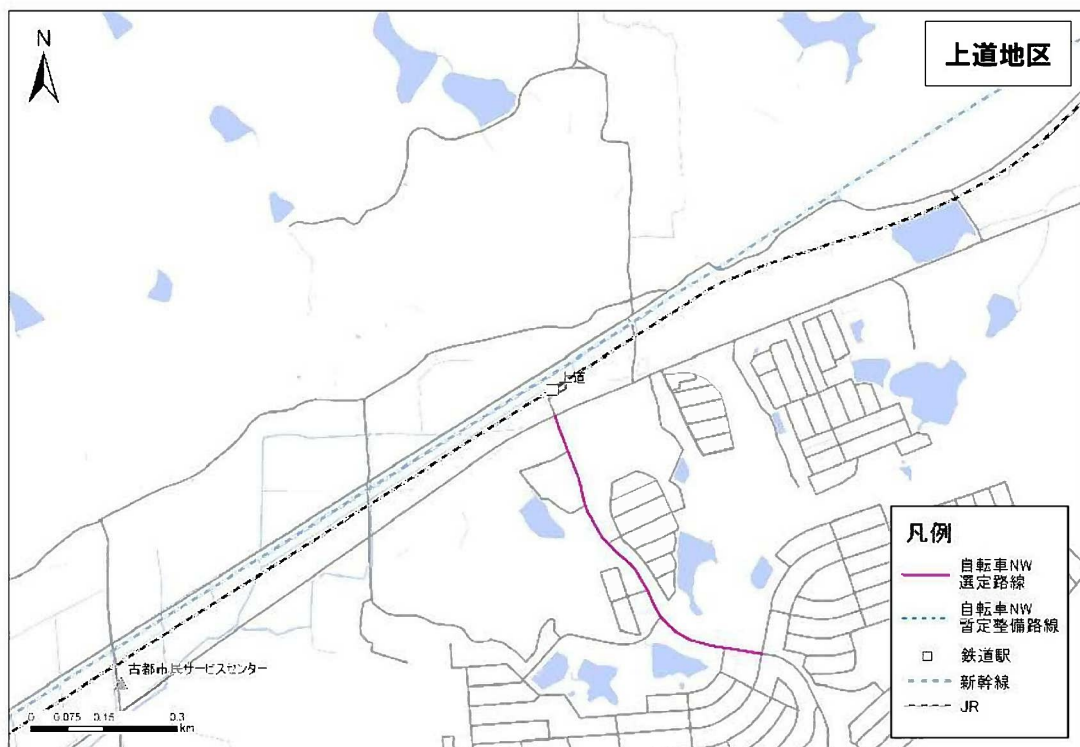
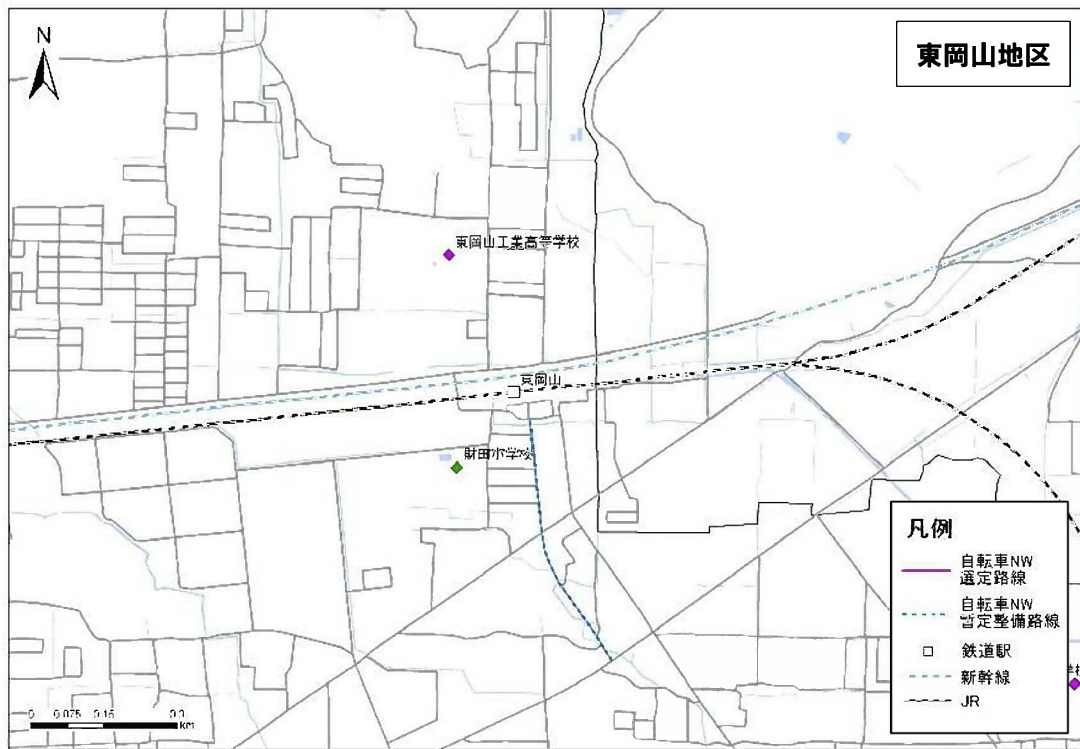
▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



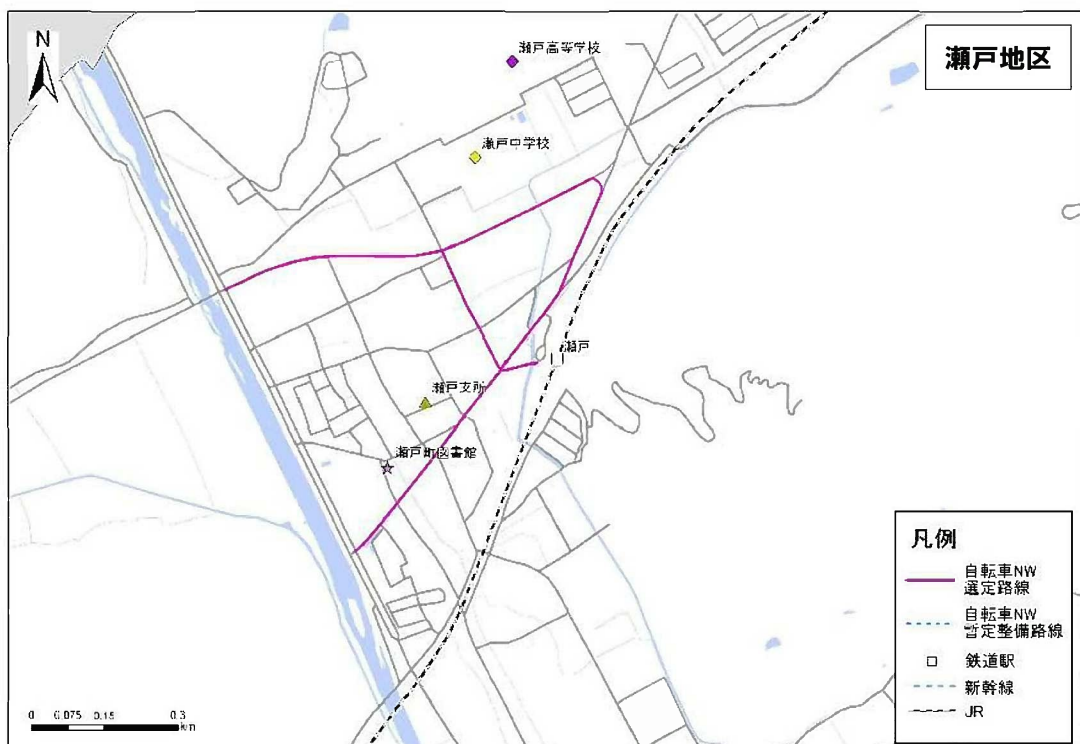
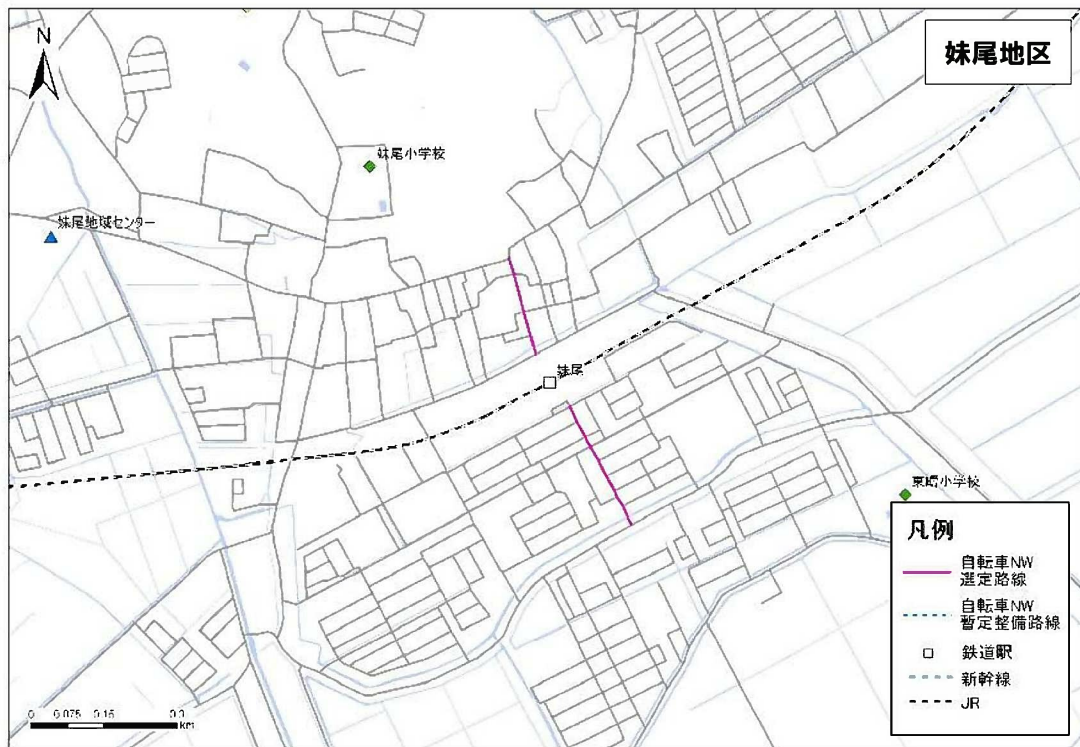
▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）※一部、都心アクセス軸含む

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）

A01-003 : (2) 西川原国富線ほか



▲自転車通行空間ネットワーク（郊外スポット部）